

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2001-512148(P2001-512148A)

【公表日】平成13年8月21日(2001.8.21)

【出願番号】特願2000-503129(P2000-503129)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/42 (2006.01)

C 0 9 D 167/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 63/42

C 0 9 D 167/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年9月28日(2007.9.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

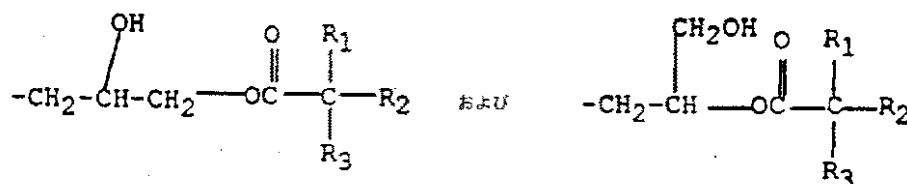
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記三級酸エステル末端基の少なくとも1つを少なくとも20重量%含む400から4000の重量平均分子量および100から400のヒドロキシ価を有するポリエステルポリオールであって、

【化1】



[式中、 R_1 、 R_2 、 R_3 は、 CH_3 および CH_2OH から独立に選択される。]

前記ポリエステルポリオールが100から800の酸価を有するポリカルボン酸から製造され、前記ポリカルボン酸が無水物または酸無水物とポリオールとの反応により製造されることを特徴とするポリエステルポリオール。

【請求項2】 (a) 全重量の40から90パーセントの(i)請求項1記載のポリエステルポリオールであって、(ii)架橋剤と、(i)対(ii)の割合を2:5から49:1で反応させるもの、および

(b) 全重量の10から60パーセントの、溶媒、色素、増量剤および添加剤から選択される少なくとも1つの要素、を含むことを特徴とするコーティング組成物。

【請求項3】 該架橋剤がアルキル化されたメラミンホルムアルデヒド化合物、ブロックされていないポリイソシアネートまたはブロックされたポリイソシアネートであることを特徴とする請求項2に記載のコーティング組成物。

【請求項4】 該多価アルコールがトリメチロールプロパンまたはモノペンタエリトリールであり、該酸無水物がヘキサヒドロフタル酸無水物またはメチルヘキサヒドロフ

タル酸無水物であることを特徴とする請求項 3 に記載のコーティング組成物。

【請求項 5】 該三級酸がピバリン酸、ジメチロールプロピオン酸、およびヒドロキシピバリン酸よりなる群から選択され、該ポリエステルポリオールが、多価アルコールと酸無水物の付加物のエポキシ化生成物であるポリグリシジルエステル化合物と、三級酸との反応によって形成されることを特徴とする請求項 2 に記載のコーティング組成物。

【請求項 6】 請求項 2 の組成物を含むことを特徴とする無色または着色された塗膜。

【請求項 7】 請求項 2 の組成物でコーティングされた基体。

【請求項 8】 請求項 1 に記載の ポリエステルポリオール を調製するための方法であって、以下のような A (i) と A (ii) を反応すること、または B (i) と B (ii) を反応すること、または A (i) と A (ii) の反応の反応生成物および B (i) と B (ii) の反応の反応生成物の混合物とすること を具備した方法：

(A) (i) ポリエステルポリオール の 10 重量% から 80 重量% の、100 から 1500 の重量平均分子量および 100 から 800 の酸価を有するポリカルボン酸またはポリカルボン酸の混合物であって、前記ポリカルボン酸が無水物または酸無水物とポリオールとの反応で製造されるもの、および

(ii) ポリエステルポリオール の 90 重量% から 20 重量% の三級酸グリシジルエステル、

(B) (i) ポリエステルポリオール の 20 重量% から 80 重量% の、ポリカルボン酸とエピクロルヒドリンとのポリグリシジルエステル誘導体反応生成物であって、200 から 2000 の重量平均分子量および 100 から 400 エポキシ当量重量を有するもの、および

(ii) ポリエステルポリオール の重量を基準にして 80 % から 20 % の、ピバリン酸、ジメチロールプロピオン酸、およびヒドロキシピバリン酸から選択される三級酸誘導体。

【請求項 9】 請求項 2 に記載のコーティング組成物を調製するための方法であって、以下のような A (i) と A (ii) を反応すること、または B (i) と B (ii) を反応すること、または、A (i) と A (ii) の反応の反応生成物および B (i) と B (ii) の反応の反応生成物の混合物とすること を具備した方法：

(A) (i) ポリエステルポリオール の 10 重量% から 80 重量% の、100 から 1500 の重量平均分子量および 100 から 800 の酸価を有するポリカルボン酸またはポリカルボン酸の混合物であって、前記ポリカルボン酸が無水物または酸無水物とポリオールとの反応で製造されるもの、および

(ii) ポリエステルポリオール の 90 重量% から 20 重量% の三級酸グリシジルエステル、

(B) (i) ポリエステルポリオール の 20 重量% から 80 重量% の、ポリカルボン酸とエピクロルヒドリンとのポリグリシジルエステル誘導体反応生成物であって、200 から 2000 の重量平均分子量および 100 から 400 エポキシ当量重量を有するもの、および

(ii) ポリエステルポリオール の重量を基準にして 80 % から 20 % の、ピバリン酸、ジメチロールプロピオン酸、ヒドロキシピバリン酸から選択される三級酸誘導体。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0011

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0011】

バインダー (a) を調製する方法は、以下のような、A (i) と A (ii) を反応すること、および B (i) と B (ii) を反応すること、またはこれらの 反応の反応生成物を混ぜ合わせることを具備する。